



TAC = Team for Agricultural Coordination
 タック
確かな技術指導を担う「園芸TAC」という仕事
 合い言葉は - 出向く・聞く・伝える -



要出
 組合員や農業の担い手らに確かな栽培技術を提供し、地域農業の振興を支援する役割を持った園芸TAC。今年度、JA庄内たがわに新設され「地域農業をサポートするチーム」として2名が活動しております。新採職員として入組した園芸特産指導員2名への技術指導や今後の取り組みを話してくれました。

栗田
 平坦部から中山間地、山間地と立地条件が異なる管内では、それらを活かした多様な産地が存在し、多様性がメリットである反面、メイン品目が目立たないというデメリットもあります。

新たに園芸作物に取り組む若手の組合員もおり、先進技術も導入しながらモデル的に産地の今後の方向性を示せるように指導していきたいです。農業の技術が日々進化する中、園芸特産指導員と情報を共有しながら現場で作物を見て的確に診断し、状況に応じた指導ができるように共にレベルアップを図りたいと思います。



JA庄内たがわ営農販売部
園芸TAC
栗田 公司さん
野菜全般を担当



JA庄内たがわ営農販売部
園芸TAC
佐藤 康一さん
果樹全般を担当



JA庄内たがわ営農販売部
園芸特産指導員（新採）
井出 大介さん
花き・野菜・オクラを担当



JA庄内たがわ営農販売部
園芸特産指導員（新採）
小池 智大さん
野菜・果樹・ブルーベリーを担当

佐藤
 管内では水稲を中心に、野菜や果樹、花きを導入した複合経営が展開されていますが、生産者の高齢化が急速に進んでいます。今後、担い手の確保を図るには、規模拡大や効率的な高品質生産などによる所得の向上が必要です。

果樹を生産する組合員の皆様へ可能な限り伺い、栽培情報を迅速に提供しながら事業提案なども行っていきたいと思っています。また、若手の園芸特産指導員と共に圃場を巡回し、知識や技術力の向上を図りたいと考えています。園芸特産指導員と情報を共有し対応を検討して参ります。圃場に伺った際は、園芸推進への意見・要望、栽培等で困っていることなどがありましたら、気軽にご相談して頂けたらと思います。

井出
 園芸TACと連携し、植物の性質や栽培

の基本的な方法論を学び、地域農業に活かしていきたいです。既存の栽培方法を見つめ直し、よりよい栽培方法を模索・確立し、提案したいと考えています。指導員としての専門的な知識や技術を身につけ、諸先輩方や上司の方々の指導をしっかりと聞き、経験を積み重ねていきたいと思っています。現在は教わることであり、ご迷惑をおかけすることもありますが、組合員の方々の一助になれるよう一生懸命頑張ります。

小池
 園芸TACと情報を共有しながら、適した土づくりと環境整備を学び、生産者から頼られる指導員を目指します。

まだまだ分からないことだらけで組合員の皆様から教わることのほうが多いと思いますが、園芸品目の基礎知識を身につけられるように自ら調べたり聞いたりし、しっかりと知識を習得していきたいです。野菜や果樹全般をはじめ、担当品目であるブルーベリーについては、専門知識をしっかりと学び、指導員として信頼されるように頑張ります。

令和2年度 園芸特産品目紹介

品目	生産者	生産額	出荷額	生産者数
花き	JA庄内たがわ	150,000円	150,000円	10名
野菜	JA庄内たがわ	770,000円	770,000円	15名
果樹	JA庄内たがわ	52,000円	52,000円	5名
ブルーベリー	JA庄内たがわ	50,355円	50,355円	2名

お知らせ版などで園情情報を発信しますので、ぜひご活用ください。